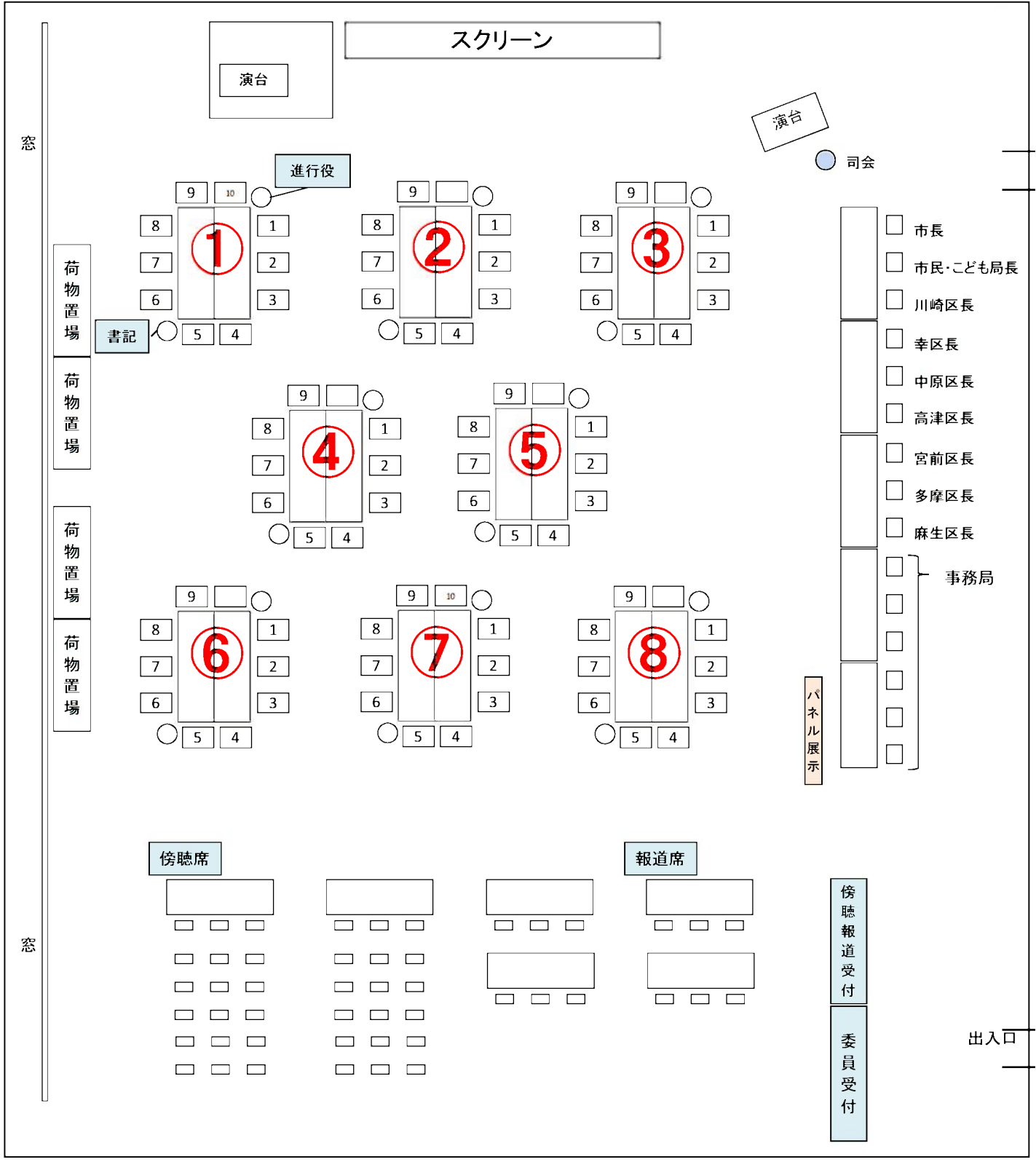


区民会議交流会参加者名簿


グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
5	1	川崎	たかはし よしみつ 高橋 義光	区長推薦	-		○
	2	幸	かみや あつこ 神谷 厚子	団体推薦	幸区子ども会連合会	副委員長	○
	3	中原	いとう ひさし 伊藤 久	団体推薦	川崎中原工場協会		○
	4	中原	なかもり 中森ジュリアみどり	公募	-		○
	5	高津	こん しゅんいちろう 金 俊一郎	団体推薦	高津区地域教育会議	副委員長	○
	6	宮前	おおむら こうへい 大村 康平	団体推薦	宮前区社会福祉協議会		○
	7	宮前	やました ひろし 山下 浩	区長推薦	第3期区民会議 委員長		○
	8	多摩	あらい せいいち 荒井 精一	公募	-	部会長	×
	9	麻生	たかから ひでとし 高倉 秀敏	公募	-	安全安心 副部会長	○
6	1	川崎	ふじおか れいこ 藤岡 玲子	団体推薦	川崎区市民健康の森海風の森をMAZUつくる会		○
	2	幸	おしやま かねつぐ 押山 兼二	団体推薦	幸区交通安全対策協議会	部会長	○
	3	幸	はるた きみえ 春田 公江	公募	市民公募		○
	4	中原	うめはら ひでき 梅原 英毅	団体推薦	ボーイ&ガールスカウト中原区協議会		○
	5	中原	なかやま ひろお 中山 博夫	公募	-		○
	6	高津	おおうち くみこ 大内 久美子	団体推薦	高津区子ども・子育てネットワーク会議	書記	×
	7	宮前	ふくだ よしのぶ 福田 美巨	団体推薦	宮前区老人クラブ連合会		○
	8	多摩	つじの かつゆき 辻野 勝行	公募	-	部会長	○
	9	麻生	ひがしかわ まさお 東川 禎男	公募	-	副委員長	○

区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
7	1	川崎	よねやま みのる 米山 実	団体推薦	川崎区文化協会		○
	2	幸	こば としみつ 古場 敏光	団体推薦	幸区まちづくり推進委員会	部会長	○
	3	中原	おぎ まごさぶろう 尾木 孫三郎	団体推薦	中原区自主防災組織連絡協議会		○
	4	中原	おかもと はるこ 岡本 治子	区長推薦	中原区食生活改善推進員連絡協議会		○
	5	中原	ただの あやこ 但野 文子	団体推薦	中原区PTA協議会		×
	6	高津	いなか えつこ 伊中 悦子	団体推薦	「エコシティたかつ」推進会議		×
	7	宮前	なおもと たかこ 直本 享子	区長推薦	第3期区民会議 副委員長	委員長	○
	8	多摩	ふじわら つかさ 藤原 つかさ	区長推薦	-		○
	9	多摩	ほその たかみ 細埜 隆己	団体推薦	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会	副部会長	×
	10	麻生	すぐり ひであき 村主 英明	公募	-	安全安心部会長	○
8	1	川崎	あらい かずなり 新井 一成	公募	-		○
	2	幸	こんどう たえ 近藤 多恵	団体推薦	日吉のわッ実行委員会		○
	3	中原	かわつれ まさひさ 川連 昌久	団体推薦	中原区商店街連合会	委員長	○
	4	中原	そりまち みつひろ 反町 充宏	区長推薦	NPO法人カワサキミュージックキャスト		○
	5	高津	かわべ よしひろ 川邊 善裕	団体推薦	高津青年会議		○
	6	宮前	くろさわ かずゆき 黒沢 一之	区長推薦	宮前区全町内・自治会連合会 顧問	副委員長	○
	7	多摩	とだか じんこ 戸高 仁子	団体推薦	かわさきかえるプロジェクト	副委員長	×
	8	麻生	すがの あきら 菅野 明	団体推薦	麻生区文化協会		○
	9	麻生	たなか げんすけ 田中 元介	公募	-	企画副部会長	○



- 市長
- 市民・子ども局長
- 川崎区長
- 幸区長
- 中原区長
- 高津区長
- 宮前区長
- 多摩区長
- 麻生区長
- } 事務局




区民会議について

平成25年2月14日
川崎市長 阿部 孝夫

本日お話しすること

- 1 区民会議の目的
- 2 区民会議設置の背景
- 3 これまでの区民会議を振り返って
- 4 地方分権改革とこれからの区役所
- 5 地方分権改革における区民会議の役割
- 6 区民会議委員の皆様への期待



区民会議の目的

区民の参加と協働による区における地域社会の課題解決に向けた調査審議を行い、もって暮らしやすい地域社会の形成に資すること
(区民会議条例第1条)

＜市政運営の3本柱＞

- ・ 行財政改革の取組
- ・ 総合計画の着実な推進
- ・ **自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり**

→ 市民の暮らしやすい地域社会を実現していくためには、自助・共助・公助の適切な役割分担のもと、市民自治に基づくまちづくりを進めていくことが必要。

それぞれの区に区民によって構成される会議(「**区民会議**」)を設け、参加及び協働による区における課題の解決を目的として調査審議します。
(自治基本条例第22条)

区民会議設置の背景

経過

- 平成16年12月
「川崎市基本構想」「自治基本条例」制定
- 平成17年4月
「自治基本条例」施行、区民会議の試行
- 平成18年4月
「区民会議条例」施行
各区で定める運営要綱の制定
「区民会議」の設置・運営

これまでの区民会議を振り返って

時期	主な審議課題
第1期 (平成18～19年)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で取り組む環境対策 ●高齢者福祉・健康づくり ●こどもの外遊び ●地元農産物と地域の交流 など
第2期 (平成20～21年)	<ul style="list-style-type: none"> ●地球環境とエコ ●自転車通行のマナー向上 ●地域防災とコミュニティ ●公園を活用した地域コミュニティの活性化 など
第3期 (平成22～23年)	<ul style="list-style-type: none"> ●公園を活用したコミュニティづくり ●地域における子育て応援体制づくり ●循環型のまち・生ごみリサイクル など

区民会議の課題①

- 区民会議の認知度を向上させること
 - ただ区民会議の名前を知ってもらうだけでなく、調査審議の内容も知ってもらうなければならない
 - 知ってもらった後、活動に協力してもらうことができるか



★大事なことは・・・

- 市民参加の基本は「情報共有」。より多くの人に区民会議を覚えてもらうこと
- 地道な広報活動を継続することにより、取組を地域に浸透させ、取組の担い手を増やすこと

区民会議の課題②

区民会議から提案された取組に実効性をもたせること

- ただ審議して、課題解決策を提案するだけでは、地域主体の取組にはつながらない
- 既存の地域団体の理解・協力を得ることができるか



★大事なことは・・・

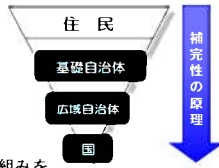
- 常に担い手を意識しながら審議すること
- 担い手になりうる団体を巻き込みながら審議し、地域主体の取組につなげる

地方分権改革とこれからの区役所①

地方分権の基本となる考え方

補完性の原理に則り、住民に身近な行政サービス（公共）は、住民に最も身近な基礎自治体がまずは担うことが必要

地域の実情を最も把握している基礎自治体は、地域の課題を的確に捉え、施策に反映するとともに、効果的・効率的に解決することなどが可能



基礎自治体の自主性・自立性を高め、分権型の仕組みを構築することが重要

- 基礎自治体への事務権限の移譲
- 義務付け・枠付けの廃止・縮小
- 税源の移譲（担う役割に見合う財源の確保）

地方分権改革とこれからの区役所②

● 行政区の特性を最大限に生かし、住民自治の充実を図る。

● 市民に最も身近な区役所は、利便性の高い快適な窓口サービスの提供に加え、**地域の課題を自ら発見し解決できる市民協働の拠点**として総合的な行政機関の役割を担う。

① 区民会議の運営

- 各区において調査審議を実施



② 協働事業・市民活動支援

- 協働型事業のルール（6つの原則）
- 各区での市民提案型事業の推進
- 市民活動の場の提供、資金の確保 など

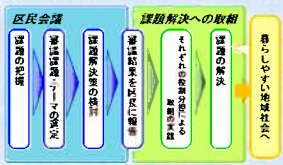
③ 区役所の機能強化

- 区長権限の強化
- 地域の課題に対応するための予備（地域課題対応事業費）
- 総合的なことも支援拠点として整備
- 区役所道路公園センターの設置 など

地方分権改革における区民会議の役割

- 地方分権改革の進展により、区役所が果たすべき役割はさらに重要に。
- 区民会議は、区における「市民本位のまちづくり」の中核的仕組みとして、**区民の参加・協働による地域社会の課題解決に向け、調査・審議を行うこと**を期待されている。

<区民会議を通じた区の課題解決のイメージ>



- まちづくりの担い手として、日常的に地域の課題解決に取り組んでいる市民の力が必要
- 課題解決に向けた取組を市民の方で地域に浸透させ、根付かせることを期待
- 区長権限のもと、地域の課題に対応するための予算（地域課題対応事業費5,500万円）を活用し、各区における地域の実情に応じた事業を展開

※市議会、県議会議員は参事として助産等を行う

10

区民会議委員の皆様へ期待すること

～暮らしやすい地域社会の実現に向けて～
地域で果たす区民会議の役割は、一歩前進した段階へ



★区民会議委員として・・・

- 区民会議で提案された取組を地域に持ち帰り、実践活動につなげ、地域に根付かせること
- ひとりひとりが区民会議の広報マン。より多くの市民に区民会議を知ってもらうため、工夫しながら地道な広報活動を続けること

小さな取組の輪を広げて大きな取組の輪に。市全体の課題の解決へ。

11

御清聴ありがとうございました。



各区区民会議における認知度向上の取組状況一覧

区	情報発信の手法	地域に開かれた区民会議とするための取組
川崎区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・区民会議だより(22年度から町内会・自治会への回覧を実施) ・区民会議を特集した市政だより区版特別号(平成23年4月1日発行)を、全世帯(10万世帯)に戸別配布 ・区民会議フォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議フォーラムの開催 ・地域課題とその解決策の提案を区民から募集する「区民ポスト」を区役所、支所、行政サービスコーナーに設置 ・区民アンケートの実施
幸区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・区民会議だより(区内公共施設にて配布) ・さいわい広報特別号(平成20年3月発行、平成21年3月発行、平成22年3月発行) ・区民会議フォーラムの開催(フォーラムの様子はホームページ上で動画でも発信) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議フォーラムの開催 ・幸区区民アンケートを実施して区民会議に関する質問を設定
中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・区民会議だより(年3回発行、町内会・自治会で回覧) ・区民会議報告書概要版(町内会・自治会で回覧) ・区民会議市民報告会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議市民報告会の開催 ・区民会議審議結果を踏まえた提案型事業の実施 ・委員自ら区民を対象としたアンケート調査を実施 ・区内関係団体への審議内容の報告
高津区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・たかつ区民会議ニュース(町内会・自治会で回覧) ・区民会議フォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議フォーラムの開催 ・区民ニーズ調査の実施 ・区役所窓口への提案箱の設置やホームページを利用した意見募集(常時) ・地元町内会などとの合同による現地調査の実施
宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・区民会議だより(年2回発行、町内会・自治会で回覧) ・マスコミへの情報提供(平成24年度2度掲載) ・区民会議フォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議フォーラムをウォークラリー形式で開催予定 ・会議の傍聴者にアンケートを配布 ・区民会議だよりの紙上で意見募集
多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・区民会議ニュース(町内会・自治会で回覧) ・区民会議フォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議フォーラムの開催 ・ホームページでの意見募集
麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより ・ホームページ ・区民会議ニュースの発行(町内会・自治会で回覧) ・区民会議フォーラムの開催 ・地域メディアへの協力要請(24年11月に企画部会委員が区内主要メディア3社を訪問し、広報への協力を要請) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議フォーラムの開催 ・会議の傍聴者にアンケートを配布 ・区民会議への提案箱を区役所ロビーに設置 ・ホームページでの意見募集 ・区民会議ニュースでの意見募集
備考	<p>(市として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民会議の概要を分かりやすく記載したパンフレットを作成し、各区役所、市民館、図書館等で配架するとともに、タウンミーティング(平成22年度)、成人の日を祝うつどい(平成23年度)等で配付 ・区民会議をPRする動画を作成し、JR川崎駅アゼリアビジョンをはじめ、様々な機会を捉えて放映 	

第4期各区区民会議 調査審議の状況

参考資料

(平成25年2月1日現在)

項目 区	部会名	審議テーマ	分野	テーマ(課題)の概要	新規・ 継続	調査審議の状況	課題解決に向けた方向性
川崎区	みんなのまちづくり部会	地域で身近な防災力(歴史、環境から学ぶ)	防災・地域交通	災害時に安全に避難できるよう、川崎区の歴史や環境の視点から防災について、審議調査していく。	新規	○区役所危機管理担当へのヒアリングを実施 ○臨海部の防災対策の現状を把握するため、東扇島にある基幹的広域防災拠点や市巡視船から臨海部の工場地帯を視察 ○海拔表示、避難所の位置表示や津波の時の避難場所について検討	○海拔表示、避難場所への誘導表示、津波時の避難場所について検討
		コミュニティバス導入の促進(観光と福祉の向上)		誰もが安全に安心して移動できるよう、観光や福祉の視点を入れたコミュニティバスの導入について、調査審議していく。	継続	○第3期で実施した「コミュニティバス」に関するアンケート結果を分析 ○地域交通導入までの取組手順を調査	○コミュニティバス導入について再検討
	すこやか・共に生きる部会	地域における健康の推進	健康	予防接種、住民健診等の受診率の向上について、調査審議していく。	新規	○小・中学生の保護者向け予防接種に関するアンケートの調査概要を検討	○予防接種に関するアンケート内容の検討 ○アンケート結果を基にした予防接種の接種率向上の手法の検討
		子ども地域で支える、子どもの生きる力	子育て	子育てや子どもが育つ環境づくりのため、子育て支援、地域での子育ての場づくり・子どもの生きる力をどう育ていくか、調査審議していく。	継続	○他都市の子ども支援策の先進事例を調査 ○子どもを地域で支える活動団体同士の連携の検討	○引き続き、他都市の子ども支援策の先進事例を調査 ○子どもを地域で支える活動団体同士の情報の共有や連携の検討
		外国人市民も住みやすいまちづくり	外国人市民	外国人市民へ十分な情報が行き届く仕組みについて調査審議していく。	新規	○外国人市民へ情報提供する区役所窓口の職員への調査を検討	○外国人市民に健康や防災等の情報を効果的に伝える手法の検討
	幸区	暮らしの安全部会	防災	安全・安心まちづくり	中学校区レベルでの地域防災力の向上について審議していく。	新規	○防災に関する各委員の意見を整理 ○区役所危機管理担当へのヒアリングを実施 ○取組の方向性としては「自助に関する取組」「エリア別の防災マップの作成」「防災訓練への中学生の参加」の3点があがり、現在、「(仮称)マイ防災マップ」づくりについて審議中 ○幸消防署が実施する区内中学校での災害図上訓練(DIG)を視察予定
自転車			自転車マナーの向上について審議していく。		継続	防災に関する調査審議が一定程度まとまった後に行っていく。	
みんなで見守りたい		地域の見守り体制づくり	高齢者・地域コミュニティ	誰もが安心して住み続けられる地域社会の実現に向け、孤独死・孤立死などを防ぎ、地域全体で見守る体制づくりを推進していくための方策等を審議していく。	新規	○審議テーマを選定するにあたり、委員意見を項目ごとに整理し、選定基準を設け投票を実施 ○最も意見の多かった「高齢者の見守り」について、区高齢者支援課と地域保健福祉課にヒアリングを実施 ○審議テーマを「地域の見守り体制づくり」とし、具体的な取組を検討するにあたって、区内における主な見守りの取組を整理し、実態を把握するため関係団体にヒアリング調査を実施	区内の主な見守り活動の実態について、各団体にヒアリング調査を実施し、課題の把握を行い、対応を検討していく。
中原区	課題調査部会	絆を深めて支え合う防災体制づくり	安全・安心まちづくり	新旧住民や多世代住民の交流を図り、住民間の結びつきを強めながら、地域の防災力向上を目指す。	新規	○取組の方向性として、「個人を対象とした啓発活動や情報提供」、「家庭内での自助の普及に向けた取組」、「地域における防災訓練の実施と地域内の人材育成」、「自主防災組織、避難所運営会議などの活動の充実」、「大型集合住宅における防災対策」を挙げた。 ○重点を置く取組として、「地域特性を踏まえた防災イベントを行う」、「活発な活動をしている自主防災組織をもっと広める」、「防災情報をもっと区民に伝える」の3点を定めた。 ○課題解決に向けた取組事項を決定した。	○区役所内に防災情報コーナーを設置 ○転入者に対する情報伝達 ○防災イベントの実施 ○大型マンションの自主防災組織結成推進 ○外国人市民の防災への理解向上
	課題調査部会	(仮称)子育て支援	子育て	中原区の特徴である住民の平均年齢が低く、子どもたちが多くを踏まえた子育て支援策を審議する。	新規	3月19日の全体会議で初の審議を行う。	未定

第4期各区区民会議 調査審議の状況

(平成25年2月1日現在)

項目 区	部会名	審議テーマ	分野	テーマ(課題)の概要	新規・ 継続	調査審議の状況	課題解決に向けた方向性
高津区	企画運営会議	地域防災	安全・安心 まちづくり	第2期区民会議における取組や提言を踏まえ、地域防災に関する調査審議を行い、具体的な取組につなげていく。	継続	○全体会議や企画運営会議において第4期のテーマを決定、今後は具体的な取組について検討していく。 ○2月19日に区内の防災備蓄倉庫の実地調査を行う予定	○第2期で作成した「防災マップ」の改訂 ○区民会議の取組をアピールすると同時に防災についての啓発を行うパンフレットの作成
宮前区	環境を活かした人づくり部会	環境・スポーツ	地域 コミュニティ	花や緑・公園・健康づくりなど身近な環境を通して地域に目を向けてもらい、それに関わる人づくりを進める。	新規	○10月・11月に区内で緑に関する活動が行われている現場へ行き、活動されているかたからお話をいただいた。 ○区内の緑関係の場所を大きな地図に落とし、視覚的に情報を共有 ○今後具体的な提案を検討	(予定) ○公園・街路樹等を活用した地域主体の取組など、今後具体的な検討を進める
	仮称)地域・世代間交流部会	地域・世代間交流	地域 コミュニティ	世代間の交流を促進することで地域のつながりを活発に	新規	○区内全17小学校にアンケートを実施。授業や課外活動、学校開放、行事等で地域と学校がどのようなつながりをもっているか調査 ○今後具体的な提案を検討	(予定) ○学校支援センターの利用促進 ○町内会・自治会の組織強化方法 ○地域と学校の連携促進など、今後具体的な検討を進める
多摩区	自然災害部会	いざという時に助け合える体制づくり	安全・安心 まちづくり	多摩区の安全・安心なまちづくりのため自然災害対策について審議していく。	新規	○自然災害に関する具体的な対策、地域の取組等について意見交換 ○防災に関する市の取組、自主防災組織等の地域の取組について勉強会を開催 ○課題解決に向けた方向性、具体的な取組の検討に向けて、現状と課題について再確認、検討	○自然災害への備えとして、「自助」「共助」「公助」を整理し、いざという時に助け合える体制づくりについて検討していく。
	コミュニティ部会	人とのつながりを深める方策づくり	地域 コミュニティ	色々な世代が交流し、コミュニティが活性化していくためにはどうしたらよいか審議していく。	新規	○コミュニティをめぐる各委員の課題認識、具体的な対策等について意見交換 ○地域のつながりの場の1つとして、こども文化センターを現地調査 ○課題解決に向けた方向性、具体的な取組の検討に向けて、現状と課題について再確認、検討	○コミュニティの活性化に向けて、地域活動に参加してもらうための仕掛け等について整理し、検討していく。
麻生区	安全・安心のまちづくり部会	大地震から助かる命を守る	安全・安心 まちづくり	公助が立ち上がるまで、自助・共助により助かる命を守ることが重要であり、「防災」のうち、事前対策と緊急避難に関する部分から調査審議を進める。	新規	○自助・共助・公助・企業市民ごとに、現在実施されている対策及び今後考えられる対策を洗い出し、事前対策と発生後の緊急対応にわけて集約した具体策検討シートから、取り組むべき3つの最優先テーマと2つの優先テーマを絞込み、活動計画に沿って進めていく。 (最優先テーマ)1. 家屋の倒壊防止 2. 家具の転倒防止 3. 火災予防・火事発生への対応 (優先テーマ) 4. 災害時要援護者等への対応 5. 負傷者、生き埋め者の救助	(予定) ○課題解決のためのモデル事業の実施 ○PRイベントの実施 ○ワークショップの開催 など
	若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会	子育てしやすい環境づくり	子育て・若い世代	将来加速する高齢化、若者の減少を背景に、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」を必要と捉え、「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」の2つのテーマについて審議を進める。	新規	既往調査・統計データの集約・分析を行うとともに、基礎調査として子育て世代を対象にアンケートを実施し、若者(子育て世代、大学生・高校生、子ども)のニーズ、若者を取り巻く現状と課題の抽出を進めている。	(予定) ○アンケートの多角的な分析に伴う具体的な課題絞込みとその解決策の審議 ○追加調査(ヒアリング、ワークショップなど)の実施を検討
		芸術・文化のまちづくり部会	芸術・文化のまちづくり	文化		継続	既往調査・統計データによる「しんゆり・芸術のまち」に関する現状と課題を把握・分析するとともに、第3期区民会議からの提言内容をどのようにフォローアップしていくか、あるいは第4期の「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」と「芸術・文化のまちづくり」をどう絡めていくか、を検討中である。

